

伝統的な言語文化と特質に関する事項

# 漢字を読んだり、書いたりしよう②

年 組 番 名前

それぞ(1)れぞ(10)れていねいに書きましよう。送り(1)が(10)なの必要(1)なもの(1)は、送り(1)が(10)な(1)漢(1)字(1)と(1)ひ(1)ら(1)が(1)な(1)で、

(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		
(6)	(れ)	(れ)
(7)		
(8)		
(9)		
(10)		

通学班長さんへ

## 安全に集団登校しよう！

学校安全 いいんかい  
(1)

ここ最近、登校中にけがをする人が増えてきています。そこで、学校安全いいんかいを もうけて、安全に登校するための5つの約束を考えました。明日の通学班集会で、じどうのみなさんに伝えてください。

【ヒント】  
「もうける」とは、「準備する」「つくる」という意味です。

### 【5つの約束】

- 1 出発の5分前には集まる。
- 2 列が 乱れないようにならぶ。  
(5) (6)
- 3 横断歩道をわたる時は、左右を たしかめる。  
(7)
- 4 工事中の場所には近づかない。  
(8)
- 5 おしゃべりに おちゅうにならないようつとめる。  
(9) (10)

【ヒント】「たしかめる」は、送りがなに気をつけて書きましよう。

【ヒント】「つとめる」という読み方をする漢字は複数あります。漢字の意味を考えて、5の文に合った「つとめる」を書きましよう。

伝統的な言語文化と特質に関する事項

# 漢字を読んだり、書いたりしよう②

年 組 番 名前

(1)	委員会
(2)	設けて
(3)	やくそく
(4)	児童
(5)	れつ
(6)	みだ(れ)
(7)	確かめる
(8)	こうじ
(9)	夢中
(10)	努める

通学班長さんへ

## 安全に集団登校しよう！

学校安全 いいんかい  
(1)

ここ最近、登校中にけがをする人が増えてきています。そこ

で、学校安全いいんかいを もうけて、安全に登校するための5  
(2)

つの約束を考えました。明日の通学班集体会で、じどうのみなさ  
(3) (4)

んに伝えてください。

### 【5つの約束】

- 1 出発の5分前には集まる。
- 2 列が 乱れないようにならぶ。  
(5) (6)
- 3 横断歩道をわたる時は、左右を たしかめる。  
(7)
- 4 工事中の場所には近づかない。  
(8)
- 5 おしゃべりに おちゅうにならないようつとめる。  
(9) (10)

◆解説◆ 「委」は「季」と形が似ているので注意しましょう。

◆解説◆ 【児童】は、子ども、小学生のことを表します。【自動】は、自分の力で動くことを表します。

◆解説◆ 「たしかめる」は「確かめる」と書きます。「確める」とまちがえないようにしましょう。

◆解説◆ 「無中」とまちがえないようにしましょう。

◆解説◆ 【努める】は、いっしょうけんめいにやることを表します。【勤める】は、会社などに出てはたらくことを表します。【務める】は、役目を受け持つことを表します。

(1) (10) の 部 の 漢 字 の 読 み を ひ ら が な で、  
送 り ば っ け ず に 書 き ま し ょ う 。  
送 り ば っ け ず に 書 き ま し ょ う 。  
漢 字 と  
を 書 き  
な で、

伝統的な言語文化と特質に関する事項

# 漢字を読んだり、書いたりしよう①

年 組 番 名前

(1)～(10)の——部の漢字の読みをひらがなで、……部のひらがなを漢字で、それぞれ正しいに書きましよう

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	
(8)	
(9)	(り)
(10)	

## 6年2組修学旅行だより

修学旅行 たんとう係  
(1)

修学旅行出発までしゅうかんになりました。歴史ある  
(2)  
京都の町を かんこうします。楽しみですね。ルールやマナーを  
(3)  
守って、思い出に残る楽しい旅行にしましょう。

- 7 集合 じこくを守ろう。  
(4)
- 8 5分前行動を いししよう。  
(5)
- 9 はんごとに行動し、自分 かってなことはやめよう。  
(6) (7)
- 10 きあ協力すること、助け合うことを大切に。  
(8)
- 11 まわりの人の めいわく迷惑にならないようにしよう。  
(9)
- 12 きけんな行動はやめよう。  
(10)

伝統的な言語文化と特質に関する事項

# 漢字を読んだり、書いたりしよう①

年 組 番 名前

(1)～(10)の——部の漢字の読みをひらがなで、……部のひらがなを漢字で、それぞれ書いていねいに書きましよう

(1)	担当
(2)	週間
(3)	観光
(4)	時刻
(5)	いしき
(6)	班
(7)	勝手
(8)	きょうりよく
(9)	周(り)
(10)	危険

## 6年2組修学旅行だより

修学旅行 たんとう係  
(1)

修学旅行出発までしゅうかんになりました。歴史ある  
(2)  
京都の町を かんこうします。楽しみですね。ルールやマナーを  
(3)  
守って、思い出に残る楽しい旅行にしましょう。

- 1 集合 じこくを守ろう。  
(4)
- 2 5分前行動を いしきしよう。  
(5)
- 3 はんごとに行動し、自分 かってなことはやめよう。  
(6) (7)
- 4 きょうりよくすること、助け合うことを大切に。  
(8)
- 5 まわりの人の めいわくにならないようにしよう。  
(9)
- 6 きけんな行動はやめよう。  
(10)

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

# 漢字を正しく書こう(六年生)十月まで(で学習する漢字)

年 組 番 名前

次の 部のひらがなを漢字に直して、ていねいに書きましょう。

問 題	答 え	もう一度、練習しよう
① 部屋があたたまる。		
② 漢字の使い方をあやまる。		
③ 知識のいずみ。		
④ 半信半ぎ。		
⑤ スクリーンにうつす。		
⑥ 首のう会談を行う。		
⑦ たん任の先生		
⑧ どう分を吸しゆうする。		
⑨ しおの満ち引き		
⑩ おずかしい問題だ。		
⑪ 食よくがわく。		
⑫ けい察署。		
⑬ そんな意義がある。		
⑭ 新しい文化をつくる。		
⑮ じゆう横むじんに走る。		
⑯ よい行いをする。		
⑰ 電車をおりる。		
⑱ 動物のほね。		
⑲ 地いきの方々		
⑳ 精みつな機械。		

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

# 漢字を正しく書こう(六年生)十月ま

年 組 番 名前

次の 部のひらがなを漢字に直して、ていねいに書きましょう。

◆ヒント◆  
 教科書の最後のページのページにある「新しく習った漢字」や「この本で習う漢字」「これまでに習った漢字」などを見て、正しい漢字を確かめましょう。

問 題

答え

① 部屋があたたまる。

暖(まる)

気温や室温が上がって寒くなくなることを書き表す時は「暖」を使います。ものの温度がちょうどよいことを書き表す時は「温」を使います。

② 漢字の使い方をあやまる。

誤(る)

まちがってしたり、やりそこなったりすることを書き表す時は「誤」を使います。ゆるしてくれようよにおわびすることを書き表す時は「謝」を使います。

③ 知識のいずみ。

泉

④ 半信半ぎ。

疑

映像や姿形をものの上にあらわすことを書き表す時は「映」を使います。もとのままに書きとったりうつつしとったりすることを書き表す時は「写」、ほかの場所へ動かすことを書き表す時は「移」を使います。

⑤ スクリーンにうつす。

映(す)

⑥ 首のう会談を行う。

脳

⑦ たん任の先生

担

⑧ どう分を吸しゆうする。

糖

海の水の満ち引きの意味を書き表す時は「潮」を使います。「塩」は、食べ物の味付けなどの意味を書き表す時に使います。

⑨ しおの満ち引き

潮

⑩ むずかしい問題だ。

難(しい)

⑪ 食よくがわく。

欲

⑫ けい察署。

警

⑬ そんな意義がある。

存

初めてつくり出したり、はじめたりすること書き表す時は「創」を使います。ついたり育てたり、文や歌を考えだしたりすることを書き表す時は「作」を、建物や船などをつくる場合は「造」を使います。

⑭ 新しい文化をつくる。

創(る)

⑮ じゆう横むじんに走る。

縦

人がらや行いが立派であることを書き表す時は「善」を使います。すぐれている、素直であること書き表す時は「良」を使います。

⑯ よい行いをする。

善(い)

⑰ 電車をおりる。

降(りる)

乗物から外へ出たり、高いところから低いところへうつたりすることを書き表す時は「降」を使います。ひくいところへうつる、ゆるしが出るなどのことを書き表す時は「下」を使います。

⑱ 地いきの方々

骨

⑳ 精みつな機械。

密

域

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

# 漢字を正しく読もう・書こう

年 組 番 名前

次の平仮名を送り仮名に気をつけて書きましょう。(五年で習う漢字)

問 題	解 答
つきが あらわれた。	
ねんげつを へる。	
きかいを もうける。	
ざいりょうを まぜる。	
せいかつを いたなんでいる。	
こころよい はおとが きこえた。	
リーダーが、むれを ひきいる。	
やまみちは、 けわしい。	
とちが こえた。	
せんせいてんを きめる。	
さんさいとりの よていを たてる。	
ようきゅうを しりぞける。	
とみを える。	
もんだいを いきおいよく とく。	
しんかんが こうひようだ。	
どくりつの きよかが だた。	
しんかんせんに のる。	
かせつを たしかめる。	
けんちくかを こころざす。	
でんとうぶんかを ちようさする。	

# 漢字を正しく読もう・書こう

年 組 番 名前

次の平仮名を送り仮名に気をつけて書きましょう。(五年生で習う漢字)

問 題	解 答
つきが あらわれた。	月が 現れた。
ねんげつを へる。	年月を 経る。
きかいを もうける。	機会を 設ける。
ざいりようを まぜる。	材料を 混ぜる。
せいかつを いとなんでいる。	生活を 営んでいる。
こころよい はおとが きこえた。	快い 羽音が 聞こえた。
リーダーが、むれを ひきいる。	リーダーが、群れを 率いる。
やまみちは、 けわしい。	山道は、険しい。
とちが こえた。	土地が、肥えた。
せんせいてんを きめる。	先制点を 決める。
さんさいとりの よていを たてる。	山菜採りの 予定を 立てる。
ようきゆうを しりぞける。	要求を 退ける。
とみを える。	富を 得る。
もんだいを いきおいよく とく。	問題を 勢いよく 解く。
しんかんが こうひようだ。	新刊が 好評だ。
どくりつの きよかが だた。	独立の 許可が 出た。
しんかんせんに のる。	新幹線に 乗る。
かせつを たしかめる。	仮説を 確かめる。
けんちくかを こころざす。	建築家を 志す。
でんとうぶんかを ちようさする。	伝統文化を 調査する。

書き間違いやすい字を中心に扱っています。

送り仮名も要注意です。

B4に拡大して使うなど工夫してください。



伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

# 漢字を正しく読もう・書こう

年 組 番 名前

次の平仮名を送り仮名に気をつけて書きましょう。(六生で習う漢字)

問	題	解	答
かがみに	うつる。		
むずかしい	もんだいを とく。		
ざっそうを	のぞく。		
はくぶつかんの	せんもんかを まねく。		
ごみを	ひろって すてよう。		
しゅうしょくしけんを	うける。		
ほうで	さばく。		
しんぞうの	しゅじゅつが ひつようです。		
しおかぜが	ふいてきた。		
きびしい	しぜんにかこまれる。		
あやまったじを	おぼえた。		
どうそうかいを	ひらく。		
しゅうのうこを	かたづけた。		
あたたかい	へやに はいる。		
おさない	しまいが きた。		
おやこうこうが	したい。		
ゆうきを	ふるう。		
ぐんしゅうに	よびかける。		
せいとうの	えんぜつかいがある。		
りんきおうへんに	たいおうする。		

# 漢字を正しく読もう・書こう

年 組 番 名前

次の平仮名を送り仮名に気をつけて書きましょう。(六年生で習う漢字)

問	題	解	答
かがみに	うつる。	鏡に映る。	
むずかしい	もんだいを	難しい	問題を 解く。
ざっそうを	のぞく。	雑草を	除く。
はくぶつかんの	せんもんかを	博物館の	専門家を 招く。
ごみを	ひろって	ごみを	拾って 捨てよう。
しゅうしよくしけんを	うける。	就職試験を	受ける。
ほうで	さばく。	法で	裁く。
しんぞうの	しゅじゅつが	心臓の	手術が 必要です。
しおかぜが	ふいてきた	潮風が	ふいてきた。
きびしい	しぜんにかこまれる	厳しい	自然に 囲まれる
あやまったじを	おぼえた。	誤った字を	覚えた。
どうそうかいを	ひらく。	同窓会を	開く。
しゅうのうこを	かたづけた。	収納庫を	片付けた。
あたたかい	へやにはいる。	暖かい	部屋に 入る。
おさない	しまいが	幼い	姉妹が 来た。
おやこうこうが	したい。	親孝行が	したい。
ゆうきを	ふるう。	勇気を	奮う。
ぐんしゅうに	よびかける。	群衆に	呼びかける。
せいとうの	えんぜつかいが	政党の	演説会が ある。
りんきおうへんに	たいおうする。	臨機応変に	対応する。

書き間違いやすい字を中心に扱っています。  
送り仮名も要注意です。  
B4に拡大するなど工夫してください。